

2011.5.1.SUN
HARLEM
14TH ANNIVERSARY PARTY
DJ: HARLEM DJ ALL STAR



-KOYA, KANGO, KEN-SKE
 (RED ZONE/ROYAL FLUSH)



-HARUKI, KOMORI
 (Apple Pie)



-WATARAI, HAL, SAH, Mike-Masa, ALAMAKI
 (PUNCH OUT!!! / BEATRIP)



-SAFARI, INOUE, MOTOYOSI MC: C.T
 (Kings Court)

VJ: MATTEE

OPEN. 22:00 ¥3,000/1D *till 24:00. ¥2,000/1D (with flyer)*
 HARLEM / DJ CAFE. Dr.Jackpot's 2F, 3F, 2-4 Maruyama-Cho, Shibuya-Ku, Tokyo Phone. 03-3461-8806
 会場では入場前全員のIDチェックを行っております。ご来場の際は必ず「本場付き身分証明書」をご持参下さい。



COVER INTERVIEW:
DJ KOMORI
 from EVERY THURSDAY PARTY
 "Apple Pie"



春満開!

ピーチリキュールフェア!

春はあけぼの。
そう、春は夜明けが一番いい。
そうだ。HARLEMへ行くう！
みんなで今宵も飲み明かそう。

ご好評につき、今月も！
ピーチのお酒を
お得な価格でご提供！

ALL
¥500!



- ピーチフィズ〈ピーチ+ソーダ+レモン〉
- ファジーネーブル〈ピーチ+オレンジジュース〉
- ピーチウーロン〈ピーチ+ウーロン茶〉
- ピーチモーニ〈ピーチ+グレープフルーツジュース+トニックウォーター〉



• ピーチフィズ



• ファジーネーブル



• ピーチウーロン



• ピーチモーニ



は、さらにお得なプライス!!

ALL
¥400!!

INTERVIEW: DJ KOMORI from EVERY THURSDAY PARTY “Apple Pie”

Cover & Interview Photo by SHINICHIRO SAITO

●今月末には“Apple Pie”が10周年を迎えますが、今の思いをお聞かせ下さい。

“Apple Pie”は不定期のイベントから始まって、月1、隔週となっていて、今現在毎週のイベントとなっていて定着してきて、その中で“Apple Pie”の目標とするものは変わらないんですけど、お客さんとの距離感とかか接し方なんかはその時々で変わってきてたなと感じますね。その時その時、僕とHARUKIさんとHARLEMやスタッフのみんなと考えながらやって来ました。芯の部分は変わらないけど、“Apple Pie”っていうものの質感だったりはその時々で変わってきてるし、今のようにならざるを得ないという手応えはあります。あとは、先月号のインタビューでKANGOさんも言ってましたけど、10年間ずっとHARLEMでやってきた中で、何ヶ月間かBXCafeでやった後で2階に戻ってきた時に、HARLEMで出来る楽しさっていうものを強く実感したので、HARLEMへの愛着みたいなものを改めて感じている10年目になっていますね。

●R&Bのパーティーということが先行していたこともあり、“Apple Pie”と言えば歌モノと考えるお客さん多いと思いますが、そういったところで気になることはありますか？

“Apple Pie”は最初からR&Bのパーティーとしてやってきたわけですけど、第1回目からHIP HOPもかかっていたしHOUSEとかもかかっていたし、古い曲も新しい曲も織り交ぜてやっていたわけで、それをやるうえで敢えて『R&Bのパーティーです』って言い切るっていうのが初めからあったんですね。最初の頃は、他のDJだとか世間一般の人たちに考えられているR&Bの枠組みっていうのが、僕とかHARUKIさんが考えているよりも結構狭いなって思っていたので、逆に『R&Bのパーティーです』って言い方をして、実際には色んな曲がかかっていることの方が、これから長くやっていくうえで絶対に色んなお客さんに楽しんでもらえるなって思っていました。それが最近のようにR&Bのサウンド的にも色んなサウンドのものが出てきた時代と重なって、定着してきたんだなって思うんですね。ELEMENTRO寄りであったり四つ打ちのサウンドが結構多いから、そういうものが好きな人も嫌いな人もいると思うんですけど、僕はDJとしてダンスミュージックの色が強いっていうのは楽しいし、単純にBPMが速いからってひとまとめにするのではなくて、その中でもCee Loみたいなクラシカルなものもあればホントにバキバキのものもあって、音色は全部PROGRESSIVE HOUSEでも『コード進行はR&Bだよな』っていうものもあるし、Jasmine Sullivanみたいな作品がこの年代になっても出てくるっていうのがR&Bのいいところだと思っていました。音楽としての根っこ部分は変わらないけど、サウンドの部分は毎年新しいものが出てきて、その流行とクラシカルな部分を両方合わせて楽しめるのがHIP HOPやR&Bの楽しさなんだって、僕はそう思っています。僕はDJをやっていて、純粋に今の時代の音っていうのが楽しいなって毎年の様に思ってますね。

●毎週のパーティーになったことで、心掛けていることはありますか？

一つは、毎週になった分、僕の意識の中でいい意味でHARLEMに馴染みたいになっていうのがありますね。月1でやってる頃は『一晩どこからどこを切っても“Apple Pie”』っていうのがベストかなって思ってた

『毎晩が特別な夜にしようっていうのを目指してやっていくべきなんだなって…』

月イチから毎週のレギュラーへ… 10年を経て進化を遂げた“Apple Pie”。単に『R&Bパーティー』とひと言では語れぬ魅力をDJ KOMORIが語る。



んですけど、今は必ずしもそうじゃないって思うんですね。“Apple Pie”の色の濃さを重視するというか、コントラストが大切だと思っていて。HIP HOPのパーティーとしてのカラーを時間帯によって出すことで、自分たち独自のカラーをより強調することが出来るかなと思うんで、今までにあった“Apple Pie”以外の色を意識的に出したりしてる部分は、毎週のパーティーになってからはありますね。そういうものも聴いてもらって、そこから自分たちの濃い部分に持っていったりして、今まで出来なかったことをやるっていうところで持っていきたいなって意識はあって。ただ、毎週になってからはまだ1年弱なんで、そこは今後もっと良くなっていくかなって思っています。

あとは、毎週になってからは、何をかけたとかかけないとかいう部分をそんなに意識しなくなりましたね。『今日はHIP HOPが多かった』とか『今日はBPM速めが多かった』とか、そういうのはそんなに意識しなくなりました。その場その日に馴染めるバランスっていうのがあると思うんで、『あれをやらなきゃいけない』『これをやらなきゃいけない』『これを詰め込まなきゃいけない』っていうのが自分的になくなった分、気持ち良くはできていますね。

●KOMORIさんの歴史的な部分で、外野からもいる言われたこともあったと思いますが、オリジナティーということで黙らせることができて今に至っていると思うのですが。

僕は基本的に誰かの後輩でDJの下積みをやったわけでも、海外のDJ誰々に憧れてDJになりたいとかいうわけでは無かったので、やっぱり抵抗感みたいなものは最初の頃はあったのかも知れませんが。もし昔からいたDJの方とかにはそういう事も言われていたんだとしても、目の前のお客さんがちゃんとついてきてくれていたんで迷いとかは無かったですね。いつも来てくれるお客さんとか、一緒にやるDJとか周りにいるスタッフとかからの手応えはあったので、そういう遠くの声はあったとしてもあんまり気にはならなかったです。

あと、やっぱり一番大切なのは現場なんですけど、オフィシャルのMIX CDにしても制作にしても、そういう面で結果を出すことがDJのポジションを上げられるというか、『DJってこういう事まで出来るんだよ』っていうのを追究していくためにも、チャレンジしていかなきゃいけないっていうのはずっと考えていたので、それの一つの形だと思うんですね。日本って、海外に比べてまだDJの地位がちゃんと認識されていないと思うんですけど、それってまだ生活にクラブやダンスミュージックが密着してないからだと思うんですよ。じゃあどうやってその距離を縮めて、HIP HOPやR&Bで踊る楽しさを解ってってもらって言ったって、やっぱりクラブという現場でいいプレイをして、色んなお客さんに来てもらうっていうのが一番大事だと思うんですね。けどそれと同時に、世間一般に向けて、電波に乗せて発信していくものとか、メガストアに並ぶ商品を継続して出していくとか、現場以外の作品をリリースすることの大切さを意識するようになりました。そうやってMIX CDや制作をすることで、自分自身が一般層との間に入る存在になってみようかなっていうのがあったんですね。

●今は、KOMORIさんを目指している若手のDJもいると思いますが、もっと「こうしていこう」と考えていることはありますか？

ここ1、2年だと思うのは、結局DJって人間性だってことなんですよ。もちろん音楽をプレイする職業だから音楽性も大切なんですけど、凄く人間性が出る職業なんだなって改めて思うんですね。例えば、DJって曲をかける人なわけだから、ある意味間接的な表現をしていると思うんです。DJは自分で直接声を発するわけではないし、歌を歌うとか踊ることよりは、一見間接的な職業だっていう意識はあったんですけど、逆にDJが曲を選ぶとか何をかけるとか次どうするっていうことで、全部自分の頭の中から出てくるものであって、シナリオは全くないし次の曲の流れも決まっているわけではない。そういう意味では、歌を歌うとか踊るとかラップするとかよりも、ある意味100%頭の中、気持ちの中から出てくるもので左右されるんだと思うんですよ。そう考えると凄く人間性が出る仕事だなって思ってるんですね。だから、人としての包容力みたいなものをもっと身につけたいなって思ってます。

実際、DJのテクニック的に上手くいったとか上手くいかないとか、『あの曲をかけたい』『この曲をかけたい』っていうのは毎分毎秒あるんですけど、それとはまた全然違う次元でドシッと受け止めて『俺が盛り上げるから、みんな思う存分楽しんで下さい』っていうメンタリティーを持ち続ける強さが凄く必要なんだなっていう思いはありますね。例えば、英語の“Tonight's the night”って言葉で“今夜は特別な夜だ”っていうのがあるんですけど、それを最近意識するようになっていて。DJをやっていると、アニバーサリーだったり何千人の前でやるプレイだったりリリースパーティーだったり、そういう一晩が特別なんだという考え方もあるんですけど、お客さんにとっては必ずしもそうではないと思うんですよ。毎週のように来てくれるお客さんもいるだろうけど、例えばその日が誰かのバースデイかも知れないし、海外から来て唯一遊びに来た日本のパーティーがたまたま“Apple Pie”かもしれないし、誰かのクラブデビューの日かもしれないし。だから、自分が毎週やる中の一日っていうメンタリティーでは足りないんだなって思うようになって。毎晩が特別な夜にしようっていうのを目指してやっていくべきなんだなって、最近凄く思いますね。

やっぱりある一定期間毎晩のようにかける曲って出てくるんですよ。メインタイムに『これは絶対ウケるから』って。でもそれをプレイするDJの気持ちとして『今日もこれかけてるよ』っていうのが少しでもあったら、その盛り上がりの質が違ってくるんだと思うんですよ。自分自身がフレッシュで、毎晩毎晩特別なんだっていう気持ちで居られれば同じ曲をプレイしてもお客さんの反応は違うなって最近は感じるので、そういう意味ではメンタリティーは凄く大事だと思いますよね。そのメンタリティーを保つために、一つの方法として自分はDJのスタイルとして新しいことに色々とチャレンジしたいと思っています。最新新しくAKAIのAPC20っていう機材を入れて、ターンテーブル1台とScratch Liveの機能をフルに使うっていうスタイルでやってるんですけど、自分は元々機材とかソフトを使うのが好きなんで、そういう部分でDJのスキルだったりテクニックのうえて常に新しいものを取り入れてフレッシュでいようっていうことを考えていて。それ自体がDJを楽しむながら続けられるのにも繋がるし、その日その晩DJに向かうテンションが大事だと思うから、いい意味で変化し続けていきたいなって思いますよね。

●オフィシャルのMIX CDや制作を目指す若いDJたちにアドバイスはありますか？

僕の場合、単純に曲を作りたいかっていうよりは、自分で作った曲をかけたいなって方が最初だったんで、そういう意味ではDJ的だったんですね。トラック制作の作業に関して言うと、海外の早いプロデューサーなんかは何時間かで1曲作ったりするんですけど、自分はそんなレベルではなくて2週間とか掛かったりもして。トラック一つ作るのに2週間掛かるってことは、8割方行き詰まってるんだと思うんですよ。それが辛いとは思わないけど、現場の気持ちいい楽しさとは違って、生みの苦しみみたいなものはありますよね。

DJやってる人たちって、絶対に現場でやってるのが一番楽しいんだと思うんですよ。それは僕も同じだから解るんですけど、僕が言えるのは色んなコンテンツを持つ方がいいんじゃないかなってことです。制作っていうのは自分の音楽を形に出来るから一番の強みだと思うし、MIX CDでもそうだし今だったらUSTREAMでもYouTubeでもBlogでもTwitterでも、DJとして現場以外でのコンテンツを持つってことは、遊びに来るお客さんに対して自分を知ってもらえることにも繋がると思うんですよ。遊びに来て、その日の現場のプレイだけで全部が伝えられて、それでファンになってくれればそれがある意味ではベストなんですけど、それをサポートする役割として、MIX CDでもBlogでもTwitterでもやってあげると、『この人はこういうDJなんだな』『こういう音楽が好きで、こういう現場でやってるんだな』って伝わると思うし、そういうことをお客さんに知ってもらえたらお客さんも自分にフォーカスしてもらえるし、お客さんが自分にフォーカスしてくると自分の好きな曲もかけ易くなるし。そうすると自分の色も出し易くなるし、色が出るとそれを好きになってくれるお客さんも増えてくると思うんですね。まあ、これはマストなわけではなくて、本当に現場だけでやっていきたいって信念

を持ってやってるDJがいても凄くいいと思うんですよ。けど、本当に一生DJでやっていきたいって思ってるんだったら、色んなコンテンツを持って自分の情報や音楽をお客さんに発信してみてもいいんじゃないかなって思いますよね。あとはそれを続けることが大事ですね。BlogにしてもUSTREAMにしてもMIX CDにしても、1ヶ月2ヶ月とかじゃなくて『2年3年、自分はこれを続けていけるのか』『続けていきたいな』っていうものを探してやってみればいいと思います。

あと個人的には、マイクを持つDJがもうちょっといても面白いんじゃないかなって思いますね。関西の方は多いんですけど東京は少ないんで。まあ僕が言うのも何ですけどね(笑)。自分っていうDJを解ってもらうにはどうすればいいか、自分がプレイしていく中で『これが好きなんだよね』って強調するにはどうすればいいのか、マイクやカラダでどうやって表すのか、それともPLAYの中でどのタイミングでどう表現するのか、それぞれがそれぞれのやり方を考えていくと色んなDJが出てきてイベントの幅が広がって、もっと面白くなっていくんじゃないかなって思いますね。“Apple Pie”と一緒にDJしている若手をはじめ、これからのDJがどんなPLAYをするのか、個人的に楽しみにしている若手DJはたくさんいるので期待しています。

●今後の予定を教えてください。

今年もMIX CDと制作の予定は色々入ってますね。夏前くらいからリリースが始まると思います。行く行くは自分自身のアルバムを作りたいっていうのがあるんですけど、どういう形にしたら面白いかと色々模索中です。

●読者にメッセージをお願いします。

いつも遊びに来てくれるお客さんのおかげで“Apple Pie”は10年やってこれたんで、本当に感謝してます。僕とHARUKIさんが目指してきたゴールは全く変わらないんですけど、“Apple Pie”は現在進行形のイベントだなって思うし、これからもっともっと楽しくなっていくと思うので、遊びに来たことのないお客さんも今からどんどん参加してもらって、一緒に盛り上げて行きましょう！今年は10周年がG.W.の最初(4/28)なので、お祭りって感じで、派手にドカンとやりたいと思うので、皆さん是非遊びに来て下さい。 [!]

〔インタビュー取材日：2011.3.10〕

〔追記〕

この度の東北地方太平洋沖地震により被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。自分は、音楽が生むポジティブなエネルギー、クラブという場での人と人との繋がりが生む結束力、これらが復興に向けてプラスになると信じています。

東北のDJ仲間も「一日でも早くDJブースからみんなの笑顔を見れるようになりたい」と言っていました。それがDJ及びクラブ関係者皆の願いだと思います。被災地の日でも早い復興をお祈りすると共に、みなさんが笑顔を取り戻すお手伝いを音楽を通して微力ながらできればと思っております。

DJ KOMORI

-OFFICIAL SITE <http://www.djkomori.com/>
-BLOG <http://ameblo.jp/djkomori>
-Twitter <http://twitter.com/djkomori>
-LABEL SITE <http://www.sugarbitz.com/>

- DJ KOMORI “BEST 3 TUNE”
“Anything”
- Musiq Soulchild feat. Swizz Beatz
“Best love song” - T-Pain feat. Chris Brown
“Hits the lights” - Jay Sean feat. Lil' Wayne



SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
27 SORRY... CLOSED	28 SORRY... CLOSED	29 EVERY TUESDAY NIGHT RED ZONE ☐ KOYA, KEN-SKE ☐ MOCHI BK CAFE ROYAL FLUSH "RED LIGHT SPECIAL" ☐ KANGO, HIDEKI, CO-HEY, TAISUKE, YUKI ☐ OPEN. 21:00 ¥3,000/1D * till 24:00. ¥1,000/1D (with flyer) *	30 MONSTER CRATE ☐ O-MEAN, TAKU, KUNNY, ATSUSHI, shoWWgo, YU, TAKA, TAKUYA, NOLI ☐ M-City, K.O, Yushi ☐ AIRI ☐ OPEN. 22:00 ¥2,500/1D ¥2,000/1D (with flyer)	31 EVERY THURSDAY NIGHT Apple Pie ☐ HARUKI, KOMORI ☐ K.O ☐ OPEN. 22:00 ¥2,500/2D * till 24:00. ¥1,000/1D (with flyer) *	4/1 EVERY FRIDAY NIGHT PUNCH OUT !!! ☐ WATARAI, HAL, SAH ☐ SHUNSUKE BK CAFE BEATRIP ☐ Mike-Masa, ALAMAKI ☐ Itsuki ☐ OPEN. 22:00 ¥3,000/1D * till 24:00. ¥1,000/1D (with flyer) *	2 EVERY SATURDAY NIGHT Kings Court ☐ SAFARI, INOUE, MOTYOYOSI ☐ C.T BK CAFE SOUL FOOD ☐ 下野 & GUEST DJ ☐ ASARI from SENDAI ☐ OPEN. 22:00 ¥3,000/1D * till 24:00. ¥1,000/1D (with flyer) *
3 SORRY... CLOSED	4 SORRY... CLOSED	5 EVERY TUESDAY NIGHT RED ZONE ☐ KOYA, KANGO ☐ ATSUSHI BK CAFE ROYAL FLUSH "BLUE CHIP" ☐ KEN-SKE, MOB, TOKU, REVOLVER ☐ OPEN. 22:00 ¥3,000/1D * till 24:00. ¥1,000/1D (with flyer) *	6 SORRY... CLOSED	7 EVERY THURSDAY NIGHT Apple Pie ☐ HARUKI, KOMORI ☐ TAKU ☐ OPEN. 22:00 ¥2,500/2D * till 24:00. ¥1,000/1D (with flyer) *	8 EVERY FRIDAY NIGHT PUNCH OUT !!! ☐ WATARAI, HAL, SAH ☐ SHUNSUKE BK CAFE BEATRIP ☐ Mike-Masa, ALAMAKI ☐ KUNNY ☐ OPEN. 22:00 ¥3,000/1D * till 24:00. ¥1,000/1D (with flyer) *	9 EVERY SATURDAY NIGHT Kings Court ☐ SAFARI, INOUE, MOTYOYOSI ☐ C.T BK CAFE SUPA DUPA SATURDAY HOST SOUND: MASTERPIECE SOUND, POWER PLAYERZ ☐ OPEN. 22:00 ¥3,000/1D * till 24:00. ¥1,000/1D (with flyer) *
10 SORRY... CLOSED	11 SORRY... CLOSED	12 EVERY TUESDAY NIGHT RED ZONE ☐ KOYA, KANGO ☐ HIDEKI BK CAFE ROYAL FLUSH "ORANGE BLOOD" ☐ KEN-SKE, SHUNSUKE, SHEIKER, CO-HEY ☐ OPEN. 22:00 ¥3,000/1D + 1 SMIRNOFF ICE * till 24:00. ¥1,000/1D (with flyer) *	13 SQUARE ☐ ICHI, NORI, K.O, TAKU ☐ HASEBE ☐ IzuMi, Da15 ☐ IzuMi, BULL BK CAFE ☐ ATSU, 326, S00 ☐ OPEN. 22:00 ¥3,000/1D ¥2,500/1D (with flyer)	14 EVERY THURSDAY NIGHT Apple Pie ☐ HARUKI, KOMORI ☐ Itsuki ☐ OPEN. 22:00 ¥2,500/2D * till 24:00. ¥1,000/1D (with flyer) *	15 EVERY FRIDAY NIGHT PUNCH OUT !!! SPECIAL DJ LEAD JAPAN TOUR 2011 "ARUMATIK REVIVES" ☐ WATARAI, HAL, SAH ☐ LEAD from THE HEAVY HITTERS ☐ SHUNSUKE BK CAFE BEATRIP ☐ Mike-Masa, ALAMAKI ☐ TAKU Supported by CIROC ☐ OPEN. 22:00 ¥3,000/1D * till 24:00. ¥1,000/1D (with flyer) *	16 EVERY SATURDAY NIGHT Kings Court ☐ SAFARI, INOUE, MOTYOYOSI ☐ C.T BK CAFE GREEN LIGHT ☐ KOYA, WATARAI ☐ OPEN. 22:00 ¥3,000/1D * till 24:00. ¥1,000/1D (with flyer) *
17 SORRY... CLOSED	18 NEVER BROKE SP. ☐ TY-KOH, 8 MAN, NUCKEY, YABLOVE ☐ LEAD (THE HEAVY HITTERS) DANCE SHOW CASE: DANCE CYPHER for BLUE MAGIC TRIPLE CLUTCH, S.O.D., LYRICAL THANKS & BLOCK DIAMOND GO GO DANCER: BLUE MAGIC GO GO DANCERS ☐ C.E.O. KAZU BK CAFE GOOD TIMES vol. 2.0 ☐ PEP-C, BEERT, TWEETY, RIE ☐ T2K a.k.a. Mr.Tee ¥2,500/1D ¥2,000/1D (with flyer) ☐ OPEN. 22:00	19 EVERY TUESDAY NIGHT RED ZONE ☐ KOYA, KANGO ☐ BOBBY BK CAFE ROYAL FLUSH "BLACK LOUNGE" ☐ KEN-SKE, SAH, MOCHI, TOKISHIN ☐ OPEN. 22:00 ¥3,000/1D * till 24:00. ¥1,000/1D (with flyer) *	20 EXPENSIVE ☐ KOYA, HAZIME ☐ EMI MARIA ☐ OPEN. 22:00 ¥3,000/1D	21 EVERY THURSDAY NIGHT Apple Pie ☐ HARUKI, KOMORI ☐ MarT ☐ OPEN. 22:00 ¥2,500/2D * till 24:00. ¥1,000/1D (with flyer) *	22 EVERY FRIDAY NIGHT PUNCH OUT !!! DJ HAL "The Next World Famous" RELEASE PARTY !!! ☐ WATARAI, HAL, SAH ☐ SHUNSUKE BK CAFE BEATRIP ☐ Mike-Masa, ALAMAKI ☐ WATAYOSHI ☐ OPEN. 22:00 ¥3,000/1D * till 24:00. ¥1,000/1D (with flyer) *	23 EVERY SATURDAY NIGHT Kings Court MC C.T BIRTHDAY BASH! ☐ SAFARI, INOUE, MOTYOYOSI ☐ C.T BK CAFE HIGHER ☐ MOTYOYOSI, A-KAY ☐ OPEN. 22:00 ¥3,000/1D * till 24:00. ¥1,000/1D (with flyer) *
24 SORRY... CLOSED	25 SORRY... CLOSED	26 EVERY TUESDAY NIGHT RED ZONE ☐ KOYA, KANGO ☐ TSUKASA BK CAFE ROYAL FLUSH "YELLOW MAGIC" ☐ KEN-SKE, O-MEAN, HIKOICHI, A2C ☐ OPEN. 22:00 ¥3,000/1D * till 24:00. ¥1,000/1D (with flyer) *	27 WALKIN'SSTORE TOKYO AREA 6TH ANNIVERSARY PARTY "Tokyo tonight" ☐ MASA~GO, SHUNSUKE, KTR, TATS, TAKU ☐ KEN-BO "Special Showcase" Double Dutch: アッチコッチダッチーズ Live: L&J & more!! ☐ OPEN. 23:00 ¥3,000/1D ¥2,500/1D (with flyer)	28 EVERY THURSDAY NIGHT Apple Pie 10TH Anniversary Special ☐ HARUKI, KOMORI ☐ K.O BK CAFE ☐ HAZIME, SAFARI ☐ OPEN. 22:00 ¥3,000/1D * till 24:00. ¥2,000/1D (with flyer) *	29 EVERY FRIDAY NIGHT PUNCH OUT !!! 2ND ANNIVERSARY PARTY!!! ☐ WATARAI, HAL, SAH ☐ SHUNSUKE BK CAFE DJ MAYUMI presents SHAKE IT. SHAKE IT ☐ MAYUMI ☐ IPPEI ☐ OPEN. 22:00 ¥3,000/1D * till 24:00. ¥2,000/1D (with flyer) *	30 EVERY SATURDAY NIGHT Kings Court 2ND ANNIVERSARY PARTY & DJ INOUE BIRTHDAY BASH! ☐ SAFARI, INOUE, MOTYOYOSI ☐ C.T BK CAFE RECOGNIZE ☐ KANGO, TOYO ☐ OPEN. 22:00 ¥3,000/1D * till 24:00. ¥2,000/1D (with flyer) *
5/1 HARLEM 14TH ANNIVERSARY PARTY ☐ HARLEM DJ ALL STAR -KOYA, KANGO, KEN-SKE (RED ZONE/ROYAL FLUSH) -HARUKI, KOMORI (Apple Pie) -WATARAI, HAL, SAH, Mike-Masa, ALAMAKI (PUNCH OUT!!!/BEATRIP) -SAFARI, INOUE, MOTYOYOSI (Kings Court) ☐ C.T ☐ MATTEE ☐ OPEN. 22:00 ¥3,000/1D * till 24:00. ¥2,000/1D (with flyer) *	2 DEEP IMPACT ☐ HAZIME, KOMORI ☐ Zeebra BK CAFE ☐ KOYA, INOUE ☐ OPEN. 22:00 ¥3,000/1D	3 EVERY TUESDAY NIGHT RED ZONE SPECIAL ☐ KOYA, KANGO ☐ ATSUSHI BK CAFE ROYAL FLUSH "BLUE CHIP" ☐ KEN-SKE, MOB, TOKU, REVOLVER ☐ KENT from OSAKA ☐ OPEN. 22:00 ¥3,000/1D * till 24:00. ¥2,000/1D (with flyer) *	4 GW Festa ☐ KAORI, HAZIME, SAFARI BK CAFE ☐ KOMORI, HAL ☐ OPEN. 22:00 ¥3,000/1D	5 EVERY THURSDAY NIGHT Apple Pie ☐ HARUKI, KOMORI ☐ TAKU ☐ OPEN. 22:00 ¥2,500/2D * till 24:00. ¥1,000/1D (with flyer) *	6 EVERY FRIDAY NIGHT PUNCH OUT !!! ☐ WATARAI, HAL, SAH ☐ SHUNSUKE BK CAFE BEATRIP ☐ Mike-Masa, ALAMAKI ☐ Itsuki ☐ OPEN. 22:00 ¥3,000/1D * till 24:00. ¥1,000/1D (with flyer) *	7 EVERY SATURDAY NIGHT Kings Court "The EXCLUSIVES OUTLET HITS!! 2" "A08 PRESENTS CELEB PARTY MIX VOL3" DJ MOTYOYOSI W Release party! ☐ SAFARI, INOUE, MOTYOYOSI ☐ C.T BK CAFE SOUL FOOD ☐ 下野 & GUEST DJ ☐ OPEN. 22:00 ¥3,000/1D * till 24:00. ¥1,000/1D (with flyer) *

- ☐ : DJ
- ☐ : MC
- ☐ : GUEST DJ
- ☐ : SPECIAL GUEST
- ☐ : LIVE
- ☐ : DANCE SHOW CASE
- ☐ : VJ
- ☐ : OPEN UP DJ
- ☐ : HOST
- ☐ : INFORMATION
- BK CAFE : HARLEM 3RD FLOOR

▶▶ EVERY TUESDAY “RED ZONE”

毎週平日の火曜という難しい状況下で、平日のパーティーの概念を全てプチ壊し、週末と錯覚するほどの集客力を誇る『RED ZONE』がとうとう10周年を迎え11年目に突入!! NEW YORKのパーティースタイルを日本で再現したい一心で始められたこのパーティーも、今やアメリカ本土のDJ達からも注目され、こぞって来日するまでに!!

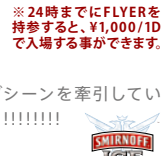
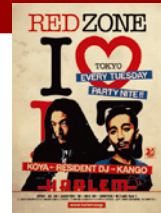
BLACK MUSICを中心にHOUSE、ERECTRO、そしてROCKなど、ここから発信されるクラブスタイルは世界最速!! 最先端!!! そして常に根底にあるのはDJ KOYAとDJ KANGOのまっすぐ過ぎるほどストリートな“HIP HOP”!!!

流行から文化を創りだすほどの影響力を持ち、もはや日本のクラブシーンを牽引しているといっても過言ではないパーティー。それが[RED ZONE]だ!!!!!!

4/12は入場者全員に**1 SMIRNOFF ICE**をプレゼント!

5/3は**“RED ZONE GOLDEN WEEK SPECIAL!”** ゴールデンウィークど真ん

中の火曜日、普段RED ZONE/ROYAL FLUSHに遊びに来られない人もその爆発力を存分に堪能あれ!!



▶▶ BXCafe “ROYAL FLUSH”

『RED ZONE』の上の階、BX CAFEにて毎週異なるテーマで開催されるWEEKLY PARTY『ROYAL FLUSH』!! 温故知新といったブラックミュージックの文化を、そのプレイで忠実に紹介してくれるのは、東京をはじめ全国各地、世界はマイアミにおいてもプレイ経験を持つDJ KEN-SKE!!

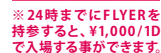
第1週目は、最先端からレア音源まで幅広い内容でお贈りする『BLUE CHIP』、第2週はダンスクラシックスを中心とした『ORANGE BLOOD』、そして第3週はブラックミュージックの神髄を深く深く掘り下げる『BLACK LOUNGE』、第4週はHIP HOPからHOUSEまで全てのダンスミュージックを網羅する『YELLOW MAGIC』、さらにレアな第5週目はDJ KANGO (RED ZONE)とDJ KEN-SKEが入れ替わる[特別な夜]『RED LIGHT SPECIAL』と、毎週火曜のパーティーとは単に言い表せない濃厚な『ROYAL FLUSH』フリークは増加の一途である…。



▶▶ EVERY THURSDAY “Apple Pie”

R&B PARTYの代名詞Apple Pie。その確固たるスタイルが打ち立てた金字塔はもはや数知れず、その勢いは留まることを知らない。毎週木曜日の夜を色鮮やかに演出するのは、唯一無二のGROOVEでもはや右に出るものはいない、数々のドラマを映し出し、聴く人全てを魅了するスケールで音、Vibezを届ける男“Mr. Apple Pie”DJ HARUKI。その端麗な容姿からR&B王子とも呼ばれ彼のリアルタイムに体现するその世界観は現在進行形でR&Bシーンを牽引。メジャーや多方面での制作活動、現場では全国各地を飛び回りHARDEST WORKIN’ DJの名を欲しいがままに各DJ KOMORI。そして後続に続く次世代R&B DJ陣が脈々と受け継がれるApple Pieの正統な血脈を更に進化させていけば、もう言葉では語ることの出来ない感動が貴方を包み込む。時にはメロウ&スウィートに、時にはキャッチーそしてメロディアスに、時には切なくドラマチックに一晚をApple Pieで過ごしてしまえば、もうそのR&Bの魔力の虜になってしまっているだろう…。

4.28.thuの祝日前・G.W.突入初日に、なんと“Apple Pie 10th Anniversary Party”開催! 10周年という偉業の記念すべき日を迎えるDJ HARUKI, DJ KOMORI & Apple Pie DJ'sの晴れ姿を盛大にお祝いしましょう!! この日はBX CAFEもOPENして華々しくPartyを開催します!!!



PICK UP APRIL 04 - 05

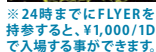
▶▶ EVERY FRIDAY “PUNCH OUT!!!”

一晚を通して『踊り明かせるPARTY』をテーマにHARLEMがお贈りしているEVERY FRIDAY PARTY NIGHT “PUNCH OUT!!!”。シーン最重要人物の一人でもあるDJ WATARAIを筆頭に、多方面での活躍が光るDJ HAL、そして2010年11月からは今や飛ぶ鳥を落とす勢いで様々なEVENTから引っ張りだこのDJ SAHが満を持しての電撃参戦!!! フレッシュさ、アグレッシブさを兼ね備えた3DJ'sの個性がぶつかり合い、そして融合して起こる化学反応に深く魅了されてしまうオーディエンスは後を絶たないことですよ!!!

パーティータイトルの如く10フレーム最後に起こる奇跡の様な、それでいて一晚を完璧に構築・演出していく様はGAMEを知り尽くした功者ならではの、音楽への飽くなき探究心と好奇心があるからこそ、無限に広がる究極のPARTYの可能性はココHARLEM “PUNCH OUT!!!” から。洗練された選曲と時を忘れてしまう程のMIX/GROOVE、一度味わってしまえば二度と忘れることの出来ない感動と衝撃是非貴方自身で体感してください。

そして、BX CAFEで新たにスタートした“BEATRIP”。週末の特別な一時を、DJ Mike-MasaとDJ ALAMAKIがさらに至高の華やかさへと彩ります。2F HARLEM “PUNCH OUT!!!”とはまた違う音の扉をくぐれば、そこに広がる音の世界は立体交差となり、アナタに新しい何かを魅せてくれるはず。今まで誰もなし得なかったWEEKEND RESIDENT PARTYで進化するNEXT GENERATIONとそこから生まれる一体感、新しい時代の流れを最新の音と共にHIP HOP LUX LOUNGE、BX CAFEでどうぞ。

4.15はGUEST DJにLEADを迎えるSPECIAL !!! (Suported By CİROC)、4.22にはDJ HAL MIX CD「DJ HAL “The Next World Famous.”」のリリースパーティー、そして4.29にはめでたく2周年を迎える“PUNCH OUT!!!”、毎週スペシャルな金曜日から目が離せません!!!



4/13.WED “SQUARE”

まずは、3月11日の東北関東地方太平洋沖地震におき被災された全ての方々にお見舞い申し上げますと共に、犠牲になってしまった方々のご冥福を心よりお祈り申し上げます。今回のSQUAREで少しでも多くの人に音楽で元気を与えられればと思っています。GUEST DJには説明不要のDJ HASEBE氏、援護にはICHI、NORIなど豊富な顔ぶれです。そしてBXはDJ ATSUを始め歌物中心に聴かせます。4月13日は是非、SQUAREへお越しください。



4/27.WED WALKIN'S STORE TOKYO AREA 6TH ANNIVERSARY PARTY “Tokyo tonight”

現在渋谷のファッションシーンに欠かす事の出来ないU.S. EUの最先端トレンドをリアルタイムで発信するインポートセレクトショップ、“WALKIN'S STORE”。常にストリートシーンを牽引し続ける神南店が6周年、ひと味違ったアダルトなインポートセレクトを提案する明治通り店が2周年を記念して開催されるBIG PARTY!!! 題して「WALKIN'S STORE TOKYO AREA 6TH ANNIVERSARY PARTY (Tokyo tonight)」。

間違いないDJ陣は勿論、この日のためのSpecialな Showcaseも見逃せません! 当日は、思いっきりオシャレして、ラストまで騒ぎましょう!!!

渋谷で一番熱い夜をWALKIN'S STOREが演出します。



5/1.SUN “HARLEM 14th ANNIVERSARY PARTY”

HARLEMがお贈りするREGULAR PARTYが次々とアニバーサリーを迎える中、なんとゴールデンウィーク4日目の5.1.SUNに、“HARLEM 14th ANNIVERSARY PARTY”が開催決定!!!! ここまでHARLEMが歩んでこられたのも一重にお客様、出演者様、関係各位の皆様のお陰だと感謝しております。心より厚く御礼申し上げます。そして新たな一歩を踏み出す瞬間を是非皆様と一緒に体感し、これからも共に歩んで音楽の本当の素晴らしさを追究していければと思っております。当日はHARLEMが自信を持って世界へ発信する13DJ's+1MC=14人の待がこの日だけのSPECIAL SETと他の追従を許さない超豪華ターナーブルリレーでHARLEMの14周年を伝説の一夜へと昇華させます!!

さらにこの日はHARLEMの14周年を記念して、今や原宿を代表するストリートブランドのひとつ[(50)DUPPIES]スペシャルコラボレーションT-SHIRTをご来場の方から抽選で30名様にPRESENT! みなさんと乾杯できるのをSTAFF一同心より楽しみにお待ちしております。

店内は大混雑必至!! ですので、お早めのご来店をお願いします☆



5/2.MON “DEEP IMPACT”

年末の衝撃も覚めやらぬまま、今年のG.W.にもやってきました“DEEP IMPACT”!! 誰もが圧倒されるスキルでフロアを沸かすDJ HAZIMEと“Apple Pie”でもお馴染みのR&B王子DJ KOMORI!! そして今回の目玉はなんとと言っても日本のHIP HOPシーンを語る上で欠かすことのできない存在、鼻息荒いシマウマことZeebra!! その日限りのステージでオーディエンスを釘付けにすることでしょう! さらにBX CAFEでは“RED ZONE”からDJ KOYA、“Kings Court”からDJ INOUEが登場!!

今回は皆さんに衝撃をお届けすることを約束します!!



5/4.WED “GW Festa”

今年もやってきました、この季節! GWと言えば毎年恒例お祭りイベント「GW Festa」!!! GUEST DJには日本のみならず世界にその名を轟かせるKAORIを筆頭にHAZIME、SAFARIとあり得ないほどの超豪華な面々!! BX CAFEもKOMORI、HALが普段とひと味違った選曲をお届け!! GWの締めくくりには是非HARLEMへ!!

尚、当日はかなり混雑することが予想されるので、お早めの入場をオススメします!



デイリーな最新情報は、BLOGまたはTwitterをチェック!

HARLEM STAFF BLOG <http://ameblo.jp/harlemstaff/>

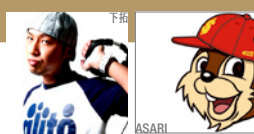


Follow me http://twitter.com/club_HARLEM



4/2-5/7.SAT “SOUL FOOD”

第1土曜BX CAFEと言えばSOUL FOOD!! 大阪で活躍するDJ 下拓を中心に全国各地で活躍するDJを招待する新しいスタイルのイベントです! 4月2日は仙台で絶大な人気を誇るDJ ASARIが登場! 5月のゲストにも注目です! 東京に居ながら大阪と各地の空気を感じられるこのパーティー、見逃せません!!



4/9.SAT “SUPA DUPA SATURDAY”

毎月第2土曜は“SUPA DUPA SATURDAY”@BX CAFE。HOSTは説明不要の人気サウンド、MASTERPIECE SOUNDとPOWER PLAYERZがREGGAE、HIP HOP、R&Bの最新のCHART HITソングから懐かしの名曲まで、ラストまでガッツリ盛り上げます!!! 新入生、新社会人の皆さん、パッチリお洒落して新しい出会いをしませんか???



CLUB HARLEM STAFF WATED!

HARLEMのオペレーションスタッフを大募集! 音楽好きな人、人と話すのが好きな人、そしてHARLEMと一緒に盛り上げてくれる人、大歓迎します!

- 【1】バーテンダー：バーで飲み物を提供します。
【2】ホール：灰皿交換などホール全般のお仕事です。
【3】音響・照明：機材回りの管理、音響と照明のオペレーターです。
【4】キャッシャー：フロントでお金や備品の管理など事務的なお仕事です。
■勤務地：CLUB HARLEM(渋谷区円山町)
■勤務期間：6ヶ月以上長期で働ける方歓迎。
■勤務時間：20:00～翌6:00 シフト制 週3日以上で応相談
■待遇：交通費支給(1万円迄)、制服貸与、食事補助、昇給随時
■給与：時給900円以上、試用期間3ヶ月は時給850円
■条件：20歳以上30歳迄迄。未成年不可。

採用エントリーはホームページの[RECRUIT]から! www.harlem.co.jp [www.harlem.co.jp/harlem/recruit.html] for Mobile! >>



MONTHLY MAGAZINE HARLEM 《HARLEM MONTHLY MAGAZINE》設置店募集!

本紙を毎月20日以上100部未満で、設置または配布して頂けるショップ(会社)を募集しております。設置ご希望の方は、【フリーペーパー設置希望】のタイトルで、以下の事項をご入力の上メールにてご連絡下さい。追って当方からご連絡させて頂きます。
※個人の方への発送は行っておりません。
※送料は弊社負担となります。
※応募多数の場合はご希望に沿えない場合がございます。予めご了承下さい。
■お申し込み先アドレス: otaken@harlem.co.jp
■記載事項: 会社名(店舗名)/業務内容/お取り扱い商品/希望送付部数
ご住所/ご連絡先電話番号/メールアドレス
ご担当者様名/HPアドレス(お持ちの方)

ヤーマン弘田の 今月のスタッフ紹介

こんばんわ、ヤーマン弘田の今月のスタッフ紹介。
『もうええやうねん』って思ってる人!! まだまだスタッフはおるで〜 それでは今月どうぞ!!
[SMITH/本名: 今井 宏明 28歳] 広島県広島市出身。少年野球チーム時代、グローブがボロボロになってしまったので、近所のスポーツショップに買いに行った時の話よ。おっちゃん『あんたは何処のポジションなん?』宏明少年『セカンドです。わしゃ〜でかいグローブ買うつていっばいタマ揃っちゃうんじゃ。』おっちゃん『セカンドならこれがええじゃろ!!』宏明少年『そがな、小さいグローブじゃのうて、わしゃぶちでかいのが欲しいんじゃ』おっちゃん『正田耕三選手(広島カープの伝説的な二塁手)は小さいグローブで正確にタマ捕るんで〜』その言葉で小さいグローブでセカンドの練習に明け暮れ、さらには少年野球チーム時代、住んだったマンションに紀藤真尋投手が住んだという奇跡!!
☆SMITHが選ぶ広島カープ歴代好き選手ベスト3
①: 大野 豊 選手 ②: 山本 浩二 選手 ③: 野村 謙二郎 選手
☆SMITHが選ぶ、何も聞かず!! これがわしのBEST3じゃけ!!
①: 岸本 セシル ②: 長谷川 潤 ③: 辺見 えみり



FEATURE INTERVIEW:
DJ CHANGG
from HIROSHIMA

■はじめにプロフィールとご自身のプレイスタイルをお願い致します。
広島県出身DJ CHANGGです。ダンサーから転向し、2000年から活動しています。
OLD to the NEW MUSICを軸に、クイック、ブレンド、緩急付けたグルーブあるMIXにマイクで煽り、オリジナリティーあるDJを心掛けてます。毎週金曜日 (UP IN DA CLUB)、土曜日 (SATURDAY HOUR) 共にClub G(www.clubg.jp) のレギュラーや、ダンスイベントを中心にDJしています。

■2月5日の (SOUL FOOD@) にて初のBX CAFEでのプレイになりましたが、その時の感想をお願い致します。
憧れの場所での初プレイ、HIP HOP中心の自分らしさを出しながら、コアな部分やクラシックも混ぜつつ攻めるプレイをしましたが、お客さんも温かくノリも良く、とても楽しくDJする事が出来ました。『アップテンポにしたり、こうすればもっと盛り上げられたな』って改めて思う部分もありますが、『広島にもこんなDJ居ます!』って少しでも足跡残すプレイが出来たかなと。ジャンルレスな時代ですが改めてHIP HOPの持てるパワーを再認識し、刺激的で最高な一夜でした!!!

■現在は広島を中心に各地でもプレイされていると思うのですが、都内及び他県には無い広島の特徴、雰囲気などがありましたらご紹介下さい。
クラブ人口も都会に比べ少なく、集客にも波がありますが『音楽が好きで遊びに来てるんだな』って伝わる事は多々あります。DJとして嬉しいですね。あと、『この曲を俺たちが広島で流行らせよう!』ってヘビープレイして、気付けば大爆発なんても。アットホームな感じも特徴のひとつですかね。
まだまだ小さなシーンではありますが、1人1人のパワーがある温かい街かなって思います。広島最高!

■DJ CHANGGさんは、ダンスやアーティストのBACK DJもやられているとのことなのですが、プレイをする中で活かされている点、1番音を使っている点などはありますか？
今はダンスしてないんですよ(笑)。でもダンスをしていたおかげで踊らせるツボや曲の幅広さに関しては自信あります! だからダンサーライクな音楽性がDJに現れてるのかなと。プレイで気を使うのはやっぱりグルーブですかね。あと意外性と曲の多様性。

■2011年も気が付けば1/3が過ぎようとしていますが、これからの目標・抱負などありましたらお願い致します。
広島での活動はもちろん、県外そして海外! 音楽の素晴らしさや大切さをDJ CHANGGという世界に1つのフィルターを通して楽しく伝えていきたいなと思います!
良くも悪くも音楽の持つパワーは無限大! それをいい方向に引き出して多くの人に発信し、マニアックかつTHE ONLY ONEな存在で居続けたいです。

■最後にHARLEM MAGAZINEの読者に一言お願い致します。
久しぶりにHARLEM行きましたが、改めて最高でした! 俺が10代の頃から憧れてるJPN HIP HOPの聖地! 間違いない! みなさんジャンジャン足を運んで最高のクラブライフを満喫して下さい。あと広島に興味ある人、是非遊びに来てみて下さい。いい街なんです。これからも応援宜しくお願いします。ありがとうございました!!!

- DJ CHANGG “Heavy Rotation”
“Boom” - Snoop Dogg feat. T-Pain
“Anything” - Musiq Soulchild feat. Swizz Beatz
“E.T.” - Katy Perry feat. Kanye West

■DJ CHANGG
1996年にダンスを始め、2000年にDJとして活動を開始。
MAJOR HIP HOP, R&B & REGGAE MUSICを軸としてUSシーンに劣らないHOT&BLAZINな曲、80s, 90s, House, Electro... etc. それぞれの音楽が持つ良い部分を、膨大な知識で幅広くバランス良く織り交ぜ、マイクパフォーマンスを取り入れながら、他にはない実験的且つ挑戦的で流動的なプレイスタイルを心掛けています。
毎週土曜Saturday Hour@Club Gを中心に、他のレギュラーパーティー、ゲスト出演、その他営業など年間100本以上の現場をこなし、自身の -STREET FAME-、DJ道との合作 -M.O.S.T- (Music on Street Talk) などのMIX CDをリリースしながら、地元広島で様々な層から絶大な支持を得ている。

また広島ではGacky, The Royal CrownのLive DJとしても活動中。さらにデザイン等の活動にも力を入れながら、様々な事にもチャレンジして行くこれからも期待のかかるArtistである。



■BLOG
<http://ameblo.jp/djchangg/>



■twitter
<http://twitter.com/djchangg>



Manhattan Records -The Exclusives-
“AV8 PRESENTS CELB PARTY MIX VOL.3”
Mixed by DJ MOTOYOSI



AV8 Presents CELEB PARTY MIX VOL.3

Manhattan Records Big Exclusive!!! m×AV8×DJ MOTOYOSIが贈る「超絶人気企画」再び!! 全世界中のフロアで使われまくりのアゲアゲ&ドキャッチー音源のみでMIXという夢の企画が再び実現!!
「知ってました? クラブでかかるのはこっちのヴァージョン。」
今、世界中のセレブパーティーにおいてDJがプレイする人気曲をパーティー仕様にアレンジした、俗に言う「現場」Remixやパーティーのピークタイムを彩る「鉄板曲」をまとめた超アゲアゲ・ノンストップMixシリーズ、Celeb Party Mix最新作が遂に登場!!
世界屈指のパーティー・トラックス・レーベルAV8に加え、DJ Useな良質トラックを提供するCrooklyn Clan、そして盛り上げ番長Fatman Scoop(!!) 全面協力の下、渋谷CLUB HARLEMの週末を沸かす“渋谷代表”DJ MOTOYOSIの手により(スキルは折り紙つき!!) Hip Hop、R&B、Rock、Electro、House、Reggae... etc. と言った、全人類が無条件に首を振る究極の選曲をアップデート!!
フロアのニーズを知り尽くした者だけが織り成せる、グルーヴ感200点満点のMixワークによって調理した近年最強のパーティー・ミックス!!
前作同様、インスト・アカベラをうまく駆使したアレンジング、創り込み方、合いの入り方、今回も相当ハンパ無いことになってます!!
只今大ヒット中の旬曲 “S&M”→ “Who's That Chick”→ “We R Who We R”で幕を開け、フロアを熱狂の渦に巻き込む “Black And Yellow” や “You Be Killin Em” といったヘッズ・ガン盛り上がりキラーチューンの必殺Remix(!!) さらに国内外問わずクラブのピークでプレイされる往年のAV8名作もバッチリ収録!!
ジャンルも世代の壁をも超越した、何でも聴いても『そりゃ飽きませんわ』な内容は「圧巻」の一言!!
盛り上げ番長Fatman Scoopによる、このCDの為にだけに録りおろしたオリジナル・シャウトを始め、終始アゲまくっております! 笑
日本中を元気にする事マチガイ無し、「最強」の名に相応しいパーティーミックス大本命!! mが激激激Pushする1枚です!!!!

2011.4.27 In Stores! ¥1,890 (TAX INCL.)



“AV8 PRESENTS
CELB PARTY MIX VOL.2”
Mixed by DJ MOTOYOSI
In Stores Now!
¥1,890 (TAX INCL.)



“How To AV8!?” by DJ MOTOYOSI

こんにちは、DJ MOTOYOSIです!
去年の夏、AV8から「AV8 Celeb Party Mix Vol.2」というMix CDをリリースさせてもらったんですが、好評につき4月の末に「Vol.3」を出させて頂ける事になりました!
そもそも、「AV8」ってDJからしてみると知らない人はいないと思う結構、普段のプレイにおいてお世話になってる人は多いと思うんですが、一般の人にはピンと来ない人が多いと思います。
「AV8」とは主にDJがPartyで使い易い様なParty TracksやMush Upを作ってるアメリカのレーベルなんですよ。流行りのトラックに皆が好きな曲のフレーズや「Put your Hands Up!!!」とか、「Make Sum Noise!!!」とか煽るフレーズを詰め込んでいるのが「Party Tracks」で、「Mush Up」とは、2つ以上の曲から片方はボーカル、もう片方は伴奏トラックを取り出して、それらをもともとあった曲のようにミックスして1つにした音楽の手法なんです。
「Mash Up」は他に「Bastard Pop」とか「Bootleg」とかも言われたりします。僕がクラブでプレイする時は、テンポを変えたい時や、お客さんのテンションをもう一階層アゲたい時、次の展開に行く一瞬の「間」を作る時に「Party Tracks」を使ったりします。「Mush Up」は、お客さんの飽きがきてる曲とか、ジャンルを変えたい時、いい意味で変化球的な要素で使ったりします。
人によって使い方は様々ですが、僕の「AV8 Party Celeb Mix」は、今流行りの曲の「Party Tracks」と「Mash Up」を中心に構成されています。正直オリジナルに勝るモノはないと考える僕ですが、聴いていてクラブにいる様な感覚になって、尚且つクラブとはまた違った面白さをこのMix CDで出せたらと思って作っています!
まだ、制作段階ですが「AV8 Celeb Party Mix Vol.3」楽しみにしててください!



SUNSET the Platinum Sound

BURST RISE SHINING STAR

DJ SAH

DJ WATARAI

DJ HAL

DJ Mike-Masa

DJ ALAMAKI

DJ MOTYOOSI

DJ C.T

DJ HARUKI

DJ KOMORI

DJ SAFARI

DJ KAZ001

DJ 下拓

DJ A-KAY

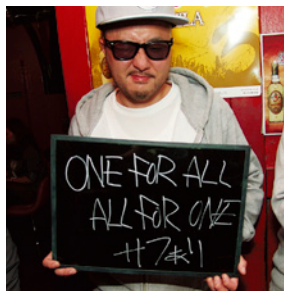
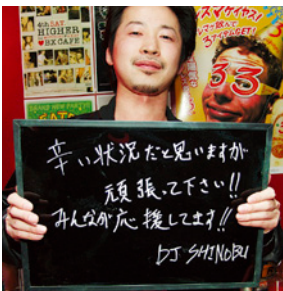
3.2.WED "DANCEHALL FLEX"
この日1周年を迎えた第1水曜日のレゲエダンス「DANCEHALL FLEX」。スペシャルゲストを迎え、盛大に開催！
PEQUU & WOOD MANによるユニット「バンバンツインズ」、[STEREON from 55 LEVEL]、[寿君]、[J-REXXX]、[アダチマン]、[KOHGO]らが次々とライブパフォーマンスを披露。
トリには[TAKAFIN from MIGHTY JAM ROCK]がソロで登場しオーディエンスをロックした。

3.3.THU "Apple Pie"
女の子に優しいパーティー「Apple Pie」が「ひな祭り」にピンゴ、懐深いDJ HARUKIのプレイと今月の巻頭を飾ったDJ KOMORIのフリークを魅了するプレイ。
¥2,500/2Dとおサイフにも優しい「Apple Pie」。春の夜長の木曜日はHARLEMに集合〜♪

3.5.SAT BX CAFE "SOUL FOOD"
第1土曜日BX CAFEのパーティー「SOUL FOOD」。DJ 下拓を中心に全国各地で活躍するDJをゲストに招いてお届け！
この日は大阪からDJ KAZ001が登場！ HIT TUNEを中心に確かなスキルでオーディエンスを満足させた。DJ 下拓はクイックなターンテーブル捌きてフロアをロック！

3.25.FRI "PUNCH OUT!!!" & BX CAFE "BEATRIP"
3.26.SAT "Kings Court" & BX CAFE "HIGHER"
震災後、営業を再開した3月25日と26日の週末。DJ WATARAI・HAL・SAH・Mike-Masa、DJ SAFARI・INOUE・MOTOYOSI・A-KAYらが、それぞれの想いを胸に熱く音楽を届けた。

※(RED ZONE/ROYAL FLUSH)は3/15にレポート予定でしたが、震災の影響で中止となりました。予めご了承ください。
●その他、掲載しきれないPARTY SHOTはWEBに掲載！ www.harlem.co.jp [HARLEM MAG > PARTY REPORT]



このたび3月11日に発生しました東北関東大震災により、亡くなられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災された皆様方、並びにそのご家族の方々に心よりお見舞い申し上げます。また、被災地の日も早い復旧・復興をお祈り申し上げます。

【義援救済金の募集】
私共HARLEM、VUENOS、axxcisで協議を重ねた結果、3店舗合同で店内に募金箱を設置し、集まりました義援金を日本赤十字社を通し被災地に寄付させて頂く事を決議致しました。(義援金額については後日改めてご報告させて頂きます。)
甚大な被害をもたらした震災による被災地域の日も早い復興を祈念し、支援の手助けとなるよう精一杯取り組みますので、ご協力頂けますようお願い致します。

KERI HILSON Interview

「すべてガールパワーが基本になってるの...」
『ノー・ボーイズ・アラウド』

●この夏にはSUMMER SONICで日本での初の本格的なコンサート成功举办させていますね。まずはその感想や思い出から聞かせてください。

SUMMER SONICは最高だったわ! あそこ、凄く暑かったよね、ステージの上。ひとつ凄く覚えているのは、私達のいたステージ... みんながあんなにノってくるとは思ってたのね。で、凄く暑い中、2曲目に入るころにはみんな踊ったりして、すでに他のアーティストも出た後だったから、みんな汗がいたし空間の湿度も凄く高かったの。それで2曲目歌いだした頃にはマスカラが溶けて目の中に入ってしまったの。2曲目で早くも!すでに汗かいてた私も!それで目の中に入って凄く染みて、あのステージはすごいこんな感じで(片目をほとんど開けない状態で)パフォーマンスしたわ(笑)。気にもなかったわ。それだけオーディエンスがほんとに素晴らしいから。エネルギーが溢れてたのね。凄く楽しかった。いろんなものにも挑戦したし。何て言うんだっけ、和風ホットケーキみたいな... オコノミヤキ! あれを食べてみたの。美味しかった~。日本は大好き!

●続いてデビュー・アルバム『イン・ア・パーフェクト・ワールド...』を振り返っていただきたいのですが、同作はR&Bチャートで1位を記録してゴールド・ディスクを獲得する大ヒットになりました。「ターニン・ミー・オン」や「ノック・ユー・ダウン」といったシングル曲も軒並み好成績を収めてグラミー賞でも2部門にノミネートされたわけですが、この結果をあなた自身はどのように受け止めていますか? どれもずっと夢みてきたことばかりで... 残すはグラミーを実際に受賞するのみ!

●そんな前作「イン・ア・パーフェクト・ワールド...」を踏まえて、今回はどんなアルバムを作りたいと考えていましたか? 今作ではファンを放ったらかしにしないように、って思ってたわ。新たなKeri Hilsonを生んだりはしなかった。成長は目指したけど、『イン・ア・パーフェクト・ワールド...』で見た要素はすべて今作中にも見つかるはず。

●今年の初頭にアルバムのイントロダクション的なミックステープを制作しているとTwitterを通じてアナウンスしていましたが、それは予定通りリリースされるのでしょうか? そう、作ってたんだけど... ミックステープはやらなかったの。自分のアルバムにエネルギー100%どころか500%注ぎ込もうと思って。

●では、今回のセカンド・アルバムのコンセプトやテーマについて詳しく教えてください。

『ノー・ボーイズ・アラウド』のコンセプトはね、1曲制作してる間にあるビジョンが頭に浮かんだの。目を閉じたら自分がどこかのクラブハウス(部屋)に居るようなシーンが思い浮かんで、そこに「No Boys Allowed(男子禁制)」って看板が掛かってたのよ。だからコンセプトは女子みんなでその部屋に集まって、男子の耳に届けたいのになってることを全部吐き出してるような感じ。今回はその視点から書いたの。「バイユー」を書いた時も「ブレイキング・ポイント」や「フリエー・ガール・ロック」なんかを書いた時も、ずっとその部屋に居たわ。すべてガールパワーが基本になっているの。その部屋に女友達みんなが集まって、いつも私たちが話してるようなことを言ってるわけ。

●アルバム・タイトルの『ノー・ボーイズ・アラウド』に託したあなたの真意を教えてください。
『ノー・ボーイズ・アラウド』には他にも、私が求めている「Boy(男子の子)」じゃなくて「Man(大人の男性)」ですって意味もあるわね。

●「ノー・ボーイズ・アラウド」というタイトル、そしてリード・シングルの「ブレイキング・ポイント」の内容やビデオなどを併せて考えると、今回は前作以上に女性リスナーの存在を意識しているような気がします。このようなアプローチをとったのはどんな理由があるのでしょうか?

私にとって女性向けの音楽を作るっていうのは自然なこと。自然な流れだったの。みんな「ターニン・ミー・オン」にも凄くいい反応を示してくれたでしょ? だからこれからもそれは男子にそういうことを伝えるのは私の役目のひとつになって感じたの。私達の価値とはどんなものか、私達にどんなリスベクトを示すべきか。私達の扱い方、会話の仕方、受け止め方、キープの仕方とかね。自分の使命な気がしたの。だからこれについては語り続けていこうって決めたよ。

●その「ブレイキング・ポイント」のコンセプトや内容、制作経緯などについて聞かせてもらえますか?

「ブレイキング・ポイント」はTimbalandがプロデュースした曲。彼とスタジオで顔合わせて、女性が恋愛の過程で経験する様々なことについて話してたの。で、彼が「うん、俺もある程度までしか見逃してもらえないし」なんて言ったんで、私も「そうよ、私たちだってなんでも我慢するわけじゃないんだから」なんて話してた。で、そのうち誰かが「そう、いずれbreaking point(=限界)に達しちゃうし」って言ったのね。そこで彼が「ちょっと待って、それいいタイトルじゃん。「ブレイキング・ポイント」って曲やろうぜ、やろう。一瞬待って」ってエンジニアに向かって「ちょっと回してくれる? フツーに録音してくれるればいいから」って言って彼がブースに駆け込んで一気に始まったの。最初、楽器使う前に声だけでビート全部作って。彼がブースに入ってる間に私はコントロール・ルームでリリックを書いたってわけ。あれは素晴らしいコラボレーションだったわ。ティンバランドとの作業はいつもそんな感じ。「ブレイキング・ポイント」はそうやって生まれたの。あの曲には凄く満足してるわ。

●ちょっとオールスクールなトゥワップ風のサウンドになってますよね。

そう。ちょっと雰囲気違うわよね。うん、私の曲としてはちょっと変わったサウンドになっているのは自分でも気づいてるわ。でも私、このキャリアにおいてはみんなにいつも同じものを期待できないようにすることを目指してるの。だってソングライターとして活動してた時はいろんなジャンルの曲書いてたし、アーティストとしてのキャリアにおいてもちょっと遊び心を持って取り掛かれるような自由も欲しい。みんなが好きなのはこういうのだからとか、こういうのが売れるからって、いつまでも何度も何度も同じような曲ばかりはやってたくないもの。好きに制作が出来るように自由が欲しいわ。

●続く第2弾リード・シングルの「フリエー・ガール・ロック」はどうでしょう? この曲についてもコンセプトや内容、制作経緯などを教えてください。

「フリエー・ガール・ロック」のプロデュースを手がけたのはNe-YoとChuck Harmony。ロサンゼルスでレコーディングしたんだけど、スタジオに着いたら最初彼(Ne-Yo)、部屋に入ってくれないわけ。「ちょっとやめてよ、Ne-Yo。トラック聴かせてよ」って言ったら「待って、今仕上げてるところだから」って言うわけ。で遂に入ったら彼(たぬまじり)に「オッケ、多分気に入ってもらえると思う」って。「きっと気に入るわ。聴かせて」って言って聴かせてもらったら、「My name is Keri / I'm so fly, oh my / It's a little bit scary~」って始まって。私が感じたあのフィーリング、あの感情はとにかく凄くて「自分のことこれほど真事に表現するのは自分でも出来なかったわ」って言ったわ! だってあれこそ



本当にクールで、クリーっぽいなって思ったんだもの。で、さらに凄いのは、私、前からいつも「Keri is so very」って言ったのね。子供の頃、KERIローションのコマーシャルがあったから、誰かに会った時に「私の名前はクリーです」「クリー? Is so very!」とか言って、私も「Nourishing! (栄養たっぷり!)」なんて答えてたの。彼はそうやって私のいつも言ってることとか、私について知ってることを取り入れてくれたのよ。もちろん気に入ったし、サウンド的にも楽しいし、しかも天才的だと思うのよねこの曲。"Don't hate me because I'm beautiful"なんて、女性が聴けば誰だって歌いたくなっちゃうじゃない? みんなヒガまれることはあるんだもの。女性はみんな見た目で批判されることが人生必ずあるんだもの。体型だけじゃないわよ。服装とか靴とか、ヘアスタイルとか髪の色とかに関してだって。しかもFacebookとかTwitterとかMySpaceのプロフィールにしたって、デジタルの世界ではみんな世の中から認められたいと思ってるの。でもその内みんな気づかないといけないわ。自分の認証を世の中に求めてちゃダメなのよ、自分は自分の内側から認めてあげないよ。"Pretty Girl Rock"の真意はそれ。

●サード・シングルはRick Rossをフィーチャーした「ザ・ウェイ・ユー・ラヴ・ミー」になるとの噂がありますが、それは本当でしょうか?

「ザ・ウェイ・ユー・ラヴ・ミー」は、どういう形で使うかはまだ分かんないでいるの。リリースされたから。なにかしらのタイミングで出したらインパクトあるシングルにはなると思うけど。

●この曲はかなりパワフルでアグレッシヴな仕上がりになっていますね。同様にコンセプトや制作経緯を教えてください。

「ザ・ウェイ・ユー・ラヴ・ミー」はPolow Da Donがプロデュースした曲で、確かにパワフルな曲ね。クレイジーなぐらい思いつき恋に落ちちゃってる様子を歌って、ちょっと妖しいっていうか、ちょっとセクシーな(笑)。でも励ましになると思うわ。(恋愛において)自分でコントロールしてこう、って言ってるわけだし。叫んで歌う、こうとか大好き。パフォーマンステキでもあれは楽しいわ。こういう曲は「ノー・ボーイズ・アラウド」にはピッタリだわ。

※KERIへのインタビューはさらに続く... www.harlem.co.jp/ → HARLEM MAGAZINEのコーナーをCHECK!!

“OFFICIAL SITE” <http://www.kerihilson.com/>
“Twitter” <http://twitter.com/#!/misskeribaby>
“Myspace” <http://www.myspace.com/kerihilson>



“NO BOYS ALLOWED” IN STORES NOW!
[特別価格 ¥1,980 (TAX INCL.)] UICS-1217

1. Buyou feat. J. Cole
2. Pretty Girl Rock
3. The Way You Love Me feat. Rick Ross
4. Bahm Bahm [Do It Once Again] (I Want You)
5. One Night Stand feat. Chris Brown
6. Lose Control feat. Nelly (Let Me Down)
7. Toy Soldier
8. Breaking Point
9. Beautiful Mistake
10. Gimme What I Want
11. All The Boys
12. Pretty Girl Rock feat. Kanye West
13. Hustler
14. Like To Me feat. Timberland
15. Want Be Long feat. Timberland
16. Fearless
17. So Good
18. I like (Jost & Grubert Radio)



Star Base Music Presents “The Next World Famous” Mixed by DJ HAL

知られざる極上R&Bベスト解禁！

昨年iTunesで1位を記録した楽曲やレコチョクでヒットした楽曲、またその楽曲に連動してClubやRadioでヘヴィープレイされた楽曲など、余すことなく2010～2011におけるインディーR&B最強の楽曲郡を収録！

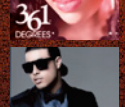
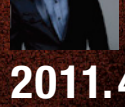


『新時代の幕開け』-STAR BASE × DJ HAL-

世界のR&Bシーンで、裏方で活躍するアーティストを日本国内に向けて紹介しているR&Bレーベル“STAR BASE MUSIC”よりオフィシャルMix CDシリーズ待望の第1弾“THE Next World Famous”がリリース！

DJ Mixには、DJ KOMORIやDJ MURAKAMIGOといったメジャーで活躍するDJを輩出し、日本を代表するDJレーベルとしてその名を轟かせる「SUGARBITZ」から「TOKYO渋谷が誇る週末の顔」として若い世代から絶大な人気を誇る「DJ HAL」が担当！！

また、このMixCDのExclusive楽曲としてMadonna、Justin Bieber、Chris Brown等を手掛け2011年のグラミーアワードでも受賞された、全米大人気ソングライターデュオ「Jackie Boyz」がこのMIX CDのための楽曲を提供。他にも、長らく期待されながらその楽曲のリリースを待たれていたDJ HALによる初プロデュース作 [Tr1 : Breakout (DJ Hal Remix) / Tania Christopher] も収録！

- | | |
|---|---|
|  | 01. Breakout (DJ Hal Remix) / Tania Christopher |
|  | 02. Give Me A Reason (DJ Komori Remix) / Elisha La'verne |
|  | 03. Give Me A Sign / Ehsan |
|  | 04. Live In The Sky / Chrishan |
|  | 05. Heart Protector feat. Jackie Boyz / Tania Christopher |
|  | 06. Can't Live Without You / Matt Cab |
|  | 07. Air / Matt Cab |
|  | 08. The One (Nephrite Remix) / Matt Cab |
|  | 09. Could It Be 2 / Jordyn Taylor |
|  | 10. Dance Our Way Back Into Love feat. Lil Eddie / Ehsan |
|  | 11. Dance Floor / Jackie Boyz |
|  | 12. Performe For Ya / Jackie Boyz |
| | 13. Love and Beyond (DJ Komori Remix) / Jackie Boyz |
| | 14. I Want You / Tania Christopher |
| | 15. Without U / Ehsan |
| | 16. Same Spot feat. Tania Christopher/ Ehsan |
| | 17. Love Song / Jamillions |
| | 18. In That Place / Elisha La'verne |
| | 19. The Letter feat. Nelly / Razah |
| | 20. Raindrops / Elisha La'verne |
| | 21. Rain / Razah |
| | 22. Gone In A Flash feat. Razah / Jamillions |
| | 23. Love You Like I Do / Jamillions |
| | 24. Fit The Description feat. Krys Ivory / Kyle Christopher |

2011.4.20 In Stores! STBC-012 ¥1,980 (TAX INCL.)



Message from DJ HAL

STAR BASE MUSICレーベル (P-VINE) のNew Mix CDを担当させていただきましたDJ HALです！今回は、STAR BASEからリリースした音源のみを使ってMixをしました。音源自体はやはりオフィシャルってこともあり、曲調りもかなり多いうえに突然襲ってきた震災の影響でいろんなことがぐちゃぐちゃになってしまい大変でしたが、なんとか無事に乗り切って仕上げる事が出来ました！

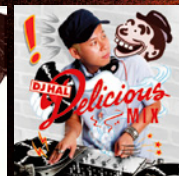
なによりも今回は僕自身初となるRemixを初収録しています！自分で制作することで自分の作品って誇れるし、自信も持てますから大変でしたけど新たなステップを踏み出せました。

Mixに関しては現場の自分とはまた違った一面が出せたと思うし、構成に関しても自分らしさが光る作品になったと思います！このMixで新たにDJHALを知っていただけの方が増えて、現場に足を運んでいただけたら嬉しいですね、PeaceでHappyな曲満載なので是非聴いてみて下さい！

“DJ HAL Release Info”



■“TOKYO CLUB FREAK W NAME EDITION” DJ HAL x KICKS LAB. 好評発売中



■“SUGARBITZ SOUND MIXER DJ HAL Delicious Mix” 好評発売中



■“TOKYO CLUB FREAK” 毎月20日好評発売中



■“Manhattan Records The Exclusives MINI” 好評発売中



■BLOG <http://ameblo.jp/61930621/>



■twitter <http://twitter.com/#!/DJHAL0621>

Total Info: www.sugarbitz.com



“Look At Me Now”



“Cem, Sade, Bio, Shank By Dmote, Daze, Crash”



Edited by Yas 5 All photos provided courtesy of Yas 5th, Tats Cru, Dmote
Special thanks to Tats Cru, Nicer, Bio, BG 183, How, Nosh, RAL, Brim, Just 195, Totem 2, Lazoo, Kongo, Juan, Gokan, Pwoz, Vision, Soklak, Mac Crew, Kosmopolite, Jazi, Won, Shame, ABC, Dmote, Daze, Crash, Sade, Cem, Lady Pink, Smith, Seen, Duster, Meeting Of Styles, Nasa Crew, Zedz, Chino BY, Mark Bode, Lady Tribe, KR, Nine Rulaz, Mighty Crown, Fire Ball, Irie Life & Irie Berry, Vinyl Junkie, Hitoshi, Nesta Brand, Overkill, Whole Train, Creative Color, Montana Hardcore, Montana 94, Posca, Krylon, Painter's Touch, Ironrak, Crash Paint, Molotow, Krink, Blubber Colors, Rust-oleum, Angel, Jessica, Chilli
yas5ive@f7.dion.ne.jp

GET THE HARLEM 2011

★HM特典その1★

【指紋認証でID不要!】

最新の指紋認証システムにより
煩わしいIDチェックが不要になります。
※初回登録時には顔写真付き身分証明書と
仮登録完了メールが必要となります。

★HM特典その2★

【内容充実のメルマガ配信】
豪華アーティストのインタビュー・
ファッション情報・
お得情報満載のメルマガを配信。
全ヘッズ必読です。

★HM特典その3★

【誕生日はエントランスフリー!】
お誕生日の週末(金・土)は
【本人+1名様エントランスフリー!】となります。
※1日1回限り有効、再入場はできません。

★HM特典その4★

【終日ディスカウント料金でご入場可!】
【終日ディスカウント料金に!】
指紋認証にてご入場頂けば、
【終日ディスカウント料金に!】
※イベント・時間帯により値段は異なります。

★HM特典その5★

【HMリストバンド着用でドリンク割引!!!】
指紋認証でご入場の方はHMリストバンドGET!
BARにてリストバンドご呈示で
ドリンクがHM価格に!!

ご登録はコチラ→



The Week End PlayList

Selected by DJ HAL, DJ SAH
from Every Friday Party "PUNCH OUT!!!"



DJ HAL

- 1 Rock, Paper, Scissors / Chris Brown feat. Big Sean & Timbaland
- 2 Toy Soldier / Keri Hilson
- 3 F#ck Him He's A DJ / Kesha
- 4 Ghetto / Ghostface Killah
- 5 Breakout (DJ HAL REMIX) / Tania Christopher



1



2



3



4



5

- ①: Timbalandマジック! 毎回彼の作る中毒性有Beatに聴けば聴くほどハマってしまう…。Chris BrownはもちろんKanye FamilyのBig Seanも独特なリズムでいい感じですね。Clubで爆音で聴きたい!
- ②: 行進曲的な独特なビート感と切ないメロディーがたまらなくツボりました! とっても悲しいリリックだけど、個人的にはたまらなく大好きです! 泣けるうー
- ③: 来日公演が延期してしまいましたね(涙)。実は全ツアーのDJを自分が担当してたので非常に残念でしたが日を改めてやるとの事、楽しみです! そんな彼女の新曲はDJ Song!!! 相変わらずKesha World全開です! あげぼよ
- ④: 少し前の曲ですがタイトル通り、かなりゲトーな匂いがする一曲。渋い! 渋過ぎる! これぞSoul & Funk

Hip Hopって感じていい味出ますねー、ドラムロールが気持ち良いです! Albumもかなり調子良いのでチェックしてみてください。

⑤: 今回4月末に発売されるOffical Mixに含まれる自分プロデュース楽曲です! 原曲はSoftBankでもおなじみだったSwing Out Sisterのあの名曲、REMIXを作るのは初めてだったのだから大変でしたが、なかなかの処女作となりました! 是非聴いて下さい。

DJ SAH

- 1 Racks / Young Chris feat. Future
- 2 Hey Muma / Cam'ron & Vado
- 3 Bomb / Chris Brown feat. Wiz Khalifa
- 4 My Last / Big Sean feat. Chris Brown
- 5 Best Love Song / T Pain feat. Chris Brown



1



2



3



4



5

- ①: ATLでも流行って、今最もイケてるDIRTY SOUTHがこれ! フックの“Racks On Racks On Racks”が癖になる〜簡単なダンスもあって、自分もブースで踊るので真似してくださいね(笑)。
- ②: HARLEMでも“WE All Up In Here”がガン盛り上がり中の彼らのNEW。本当このコンビは間違いない! 中毒性あるトラック上で繰り広げられる2人のフロウがマジでDOPE! こういう曲で盛り上がってくるとDJ的には嬉しいです。そして、ここからはアルバム“F.A.M.E.”をリリースしたばかりのChris Brown絡みの3連発です!
- ③: アルbum収録曲で、今日本で人気のWiz Khalifaとやってます。これはCLUB HITして欲しいなあ〜フックもキャッチーだし、DJ的にもかけやすいと思います! “オールマイレディースブチャヘン

ザッ! Bomb Bomb”

④: 最近フィーチャリングでかなり名前を見る彼。プロデューサーにNo I.D. フックにChris Brownと完璧の布陣だし、純粋に良い曲! そろそろBIG HITして去年のDRAKEみたいにブレイクするかも!? っていうか、かなりイケメンじゃないですか? どうですか? 女性の皆さん!

⑤: 先月号でも激プッシュしてたT-Pain! トラックもリリックも壮大すぎる〜トラックがサビで倍速になったと思ったら、急に音が抜けてT-PAIN節が炸裂といった感じで、とにかく展開が凄い! リリックもタイトルに負けないくらい熱い事言ってますよ〜、自分はCLUB中を愛でいっぱいになりたいですね〜! ってことで… また来月(笑)。

天国と地獄 ～HARLEMの歩き方 後編～

Written by Fumito Eguchi (HARLEM)

2ヶ月に渡り掲載させて頂いております『天国と地獄～HARLEMの歩き方～』。愉快的ハーレムスタッフ達がハーレムを1日楽しく遊んでみようと言う企画です。今回の出演者も“プロヤーマン師”でおなじみヤーマン弘田を筆頭に、ザキ(日サロ)、宮一(ピロイチ)の3名。あとの2名は入り口でリタイアしたため今回はこの3名です(※HARLEM MAGAZINE 3月号参照)。それでは今月もハッキリ行ってみましょう!!

今回はヤーマン弘田、ザキ、宮一が無事入店に成功し、スッタモンダキッパハッタあってなんとか中2階のVIPシートへ。ヤーマンのオゴリで酒盛り中に宮一が上からの便意をもよおしトイレへ行こうとするも道を間違え、謎の扉を発見!! と言うところでお開きでした。

宮一(以下:宮)「な、なんだこの扉は!? (さっきは開いてなかったハズ。なんで開いているんだ? なんだ? 時間交代制なのか? あら? ヤバイこのままでは!! このままではピロってしまっ!!)」宮一の脳を容赦なくピロリ菌が支配していく。

一方その頃ヤーマン達は…。ヤーマン弘田(以下:ヤ)「ええやんけ〜ちょっとぐらい〜」ザキ(以下:サ)「ダメですよ〜♡」ヤ「なんでやね〜ん黒過ぎやね〜ん」サ「んもう〜♡ あ、ていうか宮一は?」ヤ「そういえばおらん… まさかアイツ!!」

宮一の搜索が始まる。サ:「ヤーマンさん心当たりあるんざますか?♡」ヤ:「あそこに行ったんやないか!?!」サ:「心当たりあるんならアイ安心!!♡」ヤ:「こっちや!!」

宮一が発見した扉を抜け階段を上がるヤーマン達。そうです、その扉こそBX CAFEへ繋がる扉なんです。ヤーマン達は階段を駆け上がる!! ヤ:「どけどけ!! 円山町のトグロ兄弟のお通りやー!!」謎を周囲にまき散らしながら階段を駆け上がり、[②] BX CAFE到着。その瞬間ヤーマン達の目に飛び込んで来たものは!!?

宮一がカウントダウンをしながら柱に頭突きをカマしている様子。そこにホールスタッフのMATZMI(以下:M)が登場。M:「お客さん、それ以上異常な行動は……」※異常な行動、言動、もめ事を起こされた場合退店して頂く場合が

あります。[③]

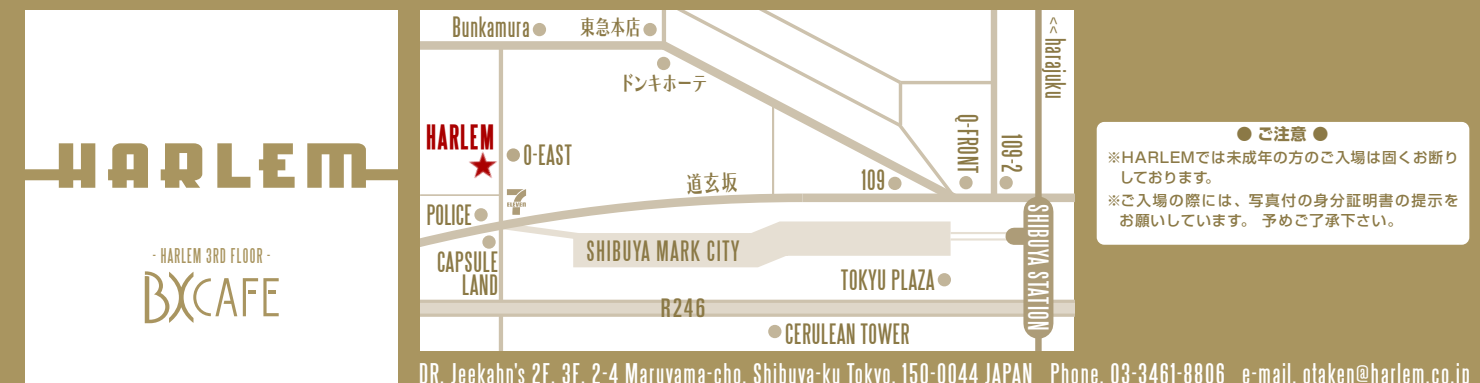
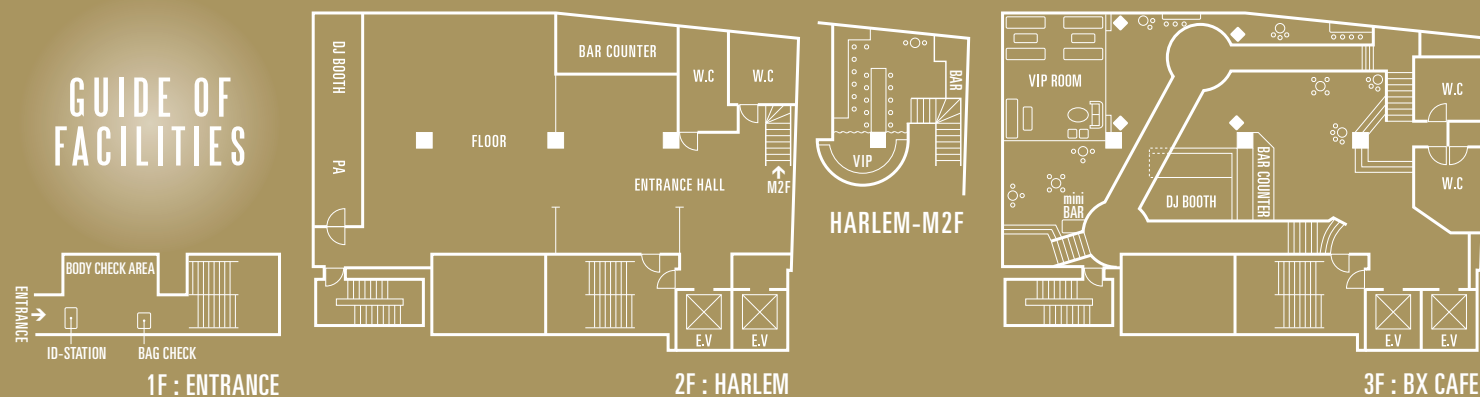
宮:「10、9、8…」ヤ:「あかんっ!! 10秒切ってる!! お冷や!! お冷持ってこい!! もちろんワシのオゴリや!!」なんとか0になる前に宮一へお冷を投与。往年のピロピロでお冷を飲み干し宮一生還。ヤ:「ふう〜。危ないところやった。」0になった時どうなっていたのかという謎を残し、再び遊びだす3人。

ヤ:「ここがBX CAFEや。とりあえず飲み物でも買おか。」ここではBX CAFEのバーテンダー、イーマーイー(以下:イ)がお出迎え。イ:「何になさいますか?」ヤ:「男は黙ってビールや!!」ザ:「アタイはカルアミルク!!」宮:「僕はお冷!!」

ホッと一息入れた所で、[④] ヤ:「お前らこっからが本番やで!! BX CAFEにもVIPシートがあるんや!! ここはかなりハイグレードやで!!」そうなんです。ここBX CAFEにもVIPシートがあるんです。ヤ:「奥や!!」全員(以下:全)「ハイッ!!」ここではハーレムの白い巨塔橋モツ(以下:橋)がお出迎え。[⑤] 橋:「VIPシートをご利用ですか?」ヤ:「そうやねん。ええとこ用意して!!」橋:「それではこちらへ。」

ヤ:「どうや!? ここがBX CAFEのVIPシートや!! もちろんこそもワシのオゴリや!! お前らワシを盛大にリスベクトしながらくつろげ!!」全:「ハイッ!!」。各々しばし休憩。[⑥] ⑥ザ:「アタイ、スットコドッコイダンスしてこよう♡」[⑦] ヤ:「なんやねんそのダンス!!」宮:「じゃあ僕はカンピロバクターしてこよう」[⑧] ヤ:「それなんやねん!! しかしやっぱハーレムはいつ来ても楽しいなあ〜」全:「ケラケラケラッ!!」といった感じで3人それぞれの夜は更けていくのでした。

2ヶ月に渡りお送りさせて頂きました『天国と地獄～HARLEMの歩き方～』。今回ご紹介した遊び方はあくまで一例です。是非是非HARLEMへ足を運んで、自分に合った遊び方、楽しみ方を探されてみてはいかがでしょうか? それでは次回の天国と地獄もどうぞご期待!!!!



MONTHLY “HARLEM MAGAZINE”
SPIT'EM OUT!
“It's Absolutely Raw”
This Magazine gives y'all Hip Hop Headz the Real Words from the Real Scene...

Publication: Otanoshimi Kenkyujo Inc. 6F, 2-1-10 Ebisu-minami, Shibuya-ku, Tokyo 150-0022 Japan Tel. 03-5768-4910 Fax. 03-5767-4912 e-mail. otaken@harlem.co.jp
Editor in Chief: Atsushi Nukazawa Editor: Akiko Sasaki, Nobuhisa Mikasa, Shoki Sato Art Direction&Design: Takashi Wakamatsu -Camel D.F.
Special Thanks: DJ Komori / DJ Changg / DJ Motoyosi / Universal Music / Yas5 / DJ Hal, DJ Sah / Ya-man Hirota / Fumito Eguchi & All HARLEM Peoples
Contents & Design may not be reproduced without the express permission of the Publisher. ©2011 Otanoshimi Kenkyujo Inc. All rights reserved. Printed in Japan.

編集後記

■結末あるのみ。[ピカール]
■震災の被害者の数が増えるたび心が痛みます。友人も地震から4日後になんとか家族の無事が確認できたものの、未だ直接話せていないそう。一日も早い復興を祈るばかりです。[ビーノ]
■あまりの不安とテレビ報道への嫌気から、ツイにツイッターデビューしました…。という月イチのつぶやき。[うに] = @mattee696
■僕たちも一人一人が強い気持ちを持って、しっかりと考え、出来ることを一つずつ。全てはみんなの為に。ここにいること。原泉いらねえ。福島と海を返せ。[T.N.T.]
■だんだん暖かくなりましたね! 春になったらもう一回ちゃんとジョギングを始めようと思います! [SHOWKIX]